避けられない影響に備えて

暑さ指数を参考にした行動が有効

ひろしま気候変動適応センター

⑦「緩和」と「適応」

気候変動対策には、「緩和」と「適応」の2種類があり、両者は車の両輪のような関係にあります。

「緩和」は、気候変動の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスを減らして、変動をなるべく小さくすることです。方法の一例としては、①省エネ・節電、再生可能エネルギーの利用などによって温室効果ガス排出量を減らすこと、②森林等を増やすことで二酸化炭素吸収量を増やすことがあります。一方で、過去に排出された温室効果ガスが環境中に蓄積しているため、緩和策を最大限実施しても、ある程度の気候変動は避けられないと予測されています。

「適応」は、緩和策を実施しても避けられない気候変動の影響に備え、被害を軽減し、よりよい生活ができるようにすることです。気候変動による気温の上昇や降水パターンの変化は、暑さによる健康被害、短時間豪雨や台風による自然災害の増加などを引き起こします。こういった被害を軽減するために、個人でもできる「適応策」があります。暑さによる熱中症予防には、帽子・日傘の利用、こまめな水分補給、暑さ指数（WBGT）を参考にした行動などが有効です。WBGTは気象情報サイトや熱中症予防情報サイト（環境省）などで確認可能で、熱中症の危険度が高まるとメールなどで注意喚起するサービスも行われています。また、短時間豪雨などの自然災害に対しては、自分自身の防災行動をあらかじめ決めて備える、マイ・タイムラインの作成が推進されています。

（ひろしま気候変動適応センター）

（出典：気候変動適応情報プラットフォーム）

動物の愛護と管理を考える⑥

県動物愛護センター8/1開庁

8/5にオープニングイベント開催

前回に引き続き、8月1日の開庁が目前となった新しい県動物愛護センターのネーミングライツと、開庁イベント情報について取り上げます。

ネーミングライツとは、一定期間、民間事業者が施設に愛称を付ける権利を得る代わりに、県にネーミングライツ料を支払う制度です。

いただいたネーミングライツ料は、動物愛護の普及啓発や動物愛護センターの利用環境向上に役立てます。

公募の結果、新センターの研修室・屋外芝生広場・犬ふれあい室他4室のネーミングライツによる愛称は、それぞれ「BLUEV（ブルーヴ）研修室」・「whitefox（ホワイトフォックス）ふれあいパーク」・「アイディオー犬ふれあい室」（他4室）に決定しました。県民の皆さまに親しみを持って活用していただきたいと思っています。

また、土曜日、日曜日も開館していますので、ペットを飼っている方も、そうでない方も、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

8月5日（土曜日）には、皆さまにご来庁いただける「動物愛護センターオープニングイベント」を開催します。

催し物など盛りだくさんでお待ちしておりますので、ぜひ右のQRコード（動物愛護センターのホームページに移動します）から、新センターの情報をご確認ください。

皆さまのお越しをお待ちしております!

（広島県健康福祉局 食品生活衛生課）

BLUEV（ブルーヴ）研修室

whitefox（ホワイトフォックス）ふれあいパーク

アイディオー犬ふれあい室

町内行事を活かした防災学習事例

地区運動会で大声コンテスト

5月28日、三次市の田幸地区公衛協が、地域の運動会『田幸スポーツフェスティバル』で防災の視点を含んだプログラム『「青空にほえろ!」～大声コンテスト～』を企画・実施しました。

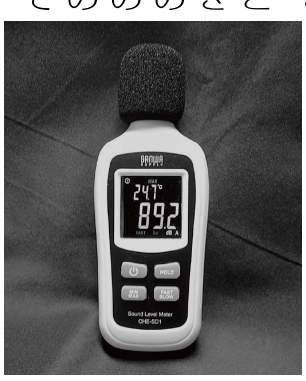
ルールは、3人一組のチームをつくり、3人が順番に計測機に向けて大声を出し、それぞれの最大音量の合計で競うというチーム戦が繰り広げられました。

園児チーム・小学生チーム・教員チーム・PTAチーム・地元チームなど8チームが参加しました。測定器から1メートル離れた地点から、思い思いの声を絞り出しました。

優勝チームや最大音量の個人に賞品が準備され、マジックライスなどの保存食やラジオ、懐中電灯などの防災用品が手渡され、災害に備えていきましょうと呼びかけて締めくくりました。

◇　◇

今回の事例は、既存の町内行事を活用し、老若男女に楽しみながら防災について啓発できるという素晴らしい取り組みです。かつ、騒音計と電卓が準備できれば、その他の道具は運動会の会場にあるもので実施が可能です。


騒音計

さらに、アレンジで、メガホンや笛、楽器、鉄パイプなどアイテムを使用して音を出してみるのもいいかもしれません。声を出すことは大変大きなエネルギーを使います。いざという時、体力を温存し、自身の存在を伝える方法を学ぶことができます。

注意事項として、このようなイベントで、「火事だー!」「地震だー!」と大きく叫ぶ際は、訓練であることを周知しておきましょう。

なお、騒音計は、当協会地域活動支援センターが運営する「学習教材貸出事業」で貸し出しています。最大音量を表示してくれるので、計測も容易です。

皆さまの地域でも、防災・減災の学びや周知につながるメニューを地域行事で企画してみてはいかがでしょうか。

（地域活動支援センター）

大声コンテストの様子